



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月10日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下内 徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	73,856	9.1	15	△85.5	△195	—	△316	—
2024年2月期第3四半期	67,723	△2.0	107	356.6	△46	—	△86	—

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 △185百万円 (—%) 2024年2月期第3四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	△13.78	—
2024年2月期第3四半期	△3.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期第3四半期	73,013	25,138	34.4	1,094.40
2024年2月期	65,003	25,784	39.7	1,122.47

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 25,138百万円 2024年2月期 25,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年2月期	—	0.00	—		
2025年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.0	600	215.0	300	477.0	150	—	6.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期3Q	23,354,223株	2024年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	383,598株	2024年2月期	383,501株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年2月期3Q	22,970,703株	2024年2月期3Q	22,970,722株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年3月1日から2024年11月30日まで）におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているとされる一方で、円安や資源高により物価の上昇基調が続いており、先行き一段の物価上昇圧力が強まるとともに、米国の今後の政策動向や金融資本市場の変動の影響などもあり本格的な景気回復及び消費喚起についてはいまだ不透明な状況であります。

小売業におきましては、インバウンド需要の増加や富裕層による高額商品の消費の伸びは大きいものの個人消費は依然として低調に推移しております。また、エネルギーコストの高止まりや食料品及び消費財の値上げが続いたことから実質賃金の減少が続いており、節約志向や選別消費の動きが強まっていることが個人消費回復の足かせになっていると考えられ、異業種・異業態との競合・価格競争が一層加速しております。これに加えて労務費や物流費の上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループではお客様のニーズにお応えしつつ、一層の経営効率の改善と次なる成長への基盤確立を目指して様々な施策を実施してまいりました。

食品分野におきましては、当社ならではの価値観と独自性のある商品を提供することにより店舗の魅力を高め、店舗規模に応じた商品構成への転換を進めながら作業効率の改善を図っております。また、2024年3月に東京都で食品スーパー7店舗の展開及び学校給食を中心とした食材の卸売をしている㈱三浦屋の全株式を取得し連結子会社といたしました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えにより、季節や地域のお客様のニーズの変化に対応して商品構成の見直しを伴う改装を行うなど、既存店舗の集客力の向上に努め、コスト削減や在庫管理の適正化により経営効率の改善を進めております。

専門店分野におきましては、ペット専門会社の㈱ユアペティアでは、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターと連携した総合サービスのペットショップとして、ご来店いただいたお客様に高いご満足を提供できるよう、㈱ユアペティア・サロンにトリミング・ペットホテル事業を移管し、機能と役割を明確にすることでサービスの向上に努めております。

DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPOでは、職人さんにとって便利な店をコンセプトとし、プロのお客様のきめ細かい需要に応じてまいりました。

また、エアコンの取り付け・クリーニングに加えて、電気・ガス・水 廻りなどの住宅設備機器の販売と設置を専門に行う㈱OSCホームファシリティにおいて、「お客様のお困りごと解決」をコンセプトとした「住まサボ」の展開を拡大しております。

自転車販売会社の㈱サイクルオリピックでは、独自商品の店舗渡しを基本としたECサイトを開設して販売チャネルを拡大するとともに、電動アシスト自転車のリユース事業、バッテリーの盗難補償など、新たなサービスを導入してまいりました。また自転車企画製造会社の㈱OSCサイクルでは、独自商品である「FREE POWER」の新車種開発とコストの最適化に取り組んでおります。

これらの方針に基づきながら、2024年4月に既存店である食品スーパーマーケット「カズン関原店」（東京都足立区）を新たに「Olympic関原店」としてリニューアルし、新規出店につきましても2024年6月に食品スーパーマーケット「Olympic朝霞泉水店」（埼玉県朝霞市）、11月に食品スーパーマーケット「Olympic荒川一丁目店」

（東京都荒川区）を開店させるなど、業容の拡大に向けて積極的な営業活動を行ってまいりました。

管理面では、前年に続き高い水準の賃上げを実施したうえでグループ全体を通じた店舗運営における作業改善による業務の効率化を進め、コスト上昇等を見据えて費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、買収による新規連結効果もあり当第3四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は738億56百万円（前年同四半期比9.1%増）となる一方で、経費等の削減努力を継続したものの買収関連費用の計上もあり営業利益は15百万円（前年同四半期比85.5%減）、経常損失は金利上昇の影響もあり1億95百万円（前年同四半期は46百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億16百万円（前年同四半期は86百万円の損失）となりました。

また、EBITDA（営業利益+減価償却費及びのれん償却費）は16億83百万円（前年同四半期は16億67百万円）でありました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ80億10百万円増加し、730億13百万円となりました。これは主に現金及び預金、売掛金、商品、のれんが増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86億55百万円増加し、478億74百万円となりました。これは主に買掛金、借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円減少し、251億38百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績につきましては、最近の業績等の動向を踏まえ、2024年10月11日に公表いたしました2025年2月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年1月10日)に公表いたしました「2025年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,955	5,496
売掛金	1,458	2,382
商品	10,372	12,111
その他	1,554	1,466
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	16,340	21,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,565	12,548
土地	14,820	14,820
その他（純額）	2,280	2,531
有形固定資産合計	29,666	29,900
無形固定資産		
のれん	379	1,776
その他	1,149	1,392
無形固定資産合計	1,528	3,169
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,052	14,433
その他	3,414	4,053
投資その他の資産合計	17,467	18,487
固定資産合計	48,662	51,556
資産合計	65,003	73,013
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,874	9,217
短期借入金	17,097	16,973
未払法人税等	165	113
賞与引当金	254	475
その他	2,686	3,442
流動負債合計	27,078	30,222
固定負債		
社債	52	20
長期借入金	10,061	13,476
退職給付に係る負債	20	22
資産除去債務	893	1,073
その他	1,113	3,060
固定負債合計	12,140	17,652
負債合計	39,219	47,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	5,971	5,195
自己株式	△293	△293
株主資本合計	25,454	24,678
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	460
その他の包括利益累計額合計	329	460
純資産合計	25,784	25,138
負債純資産合計	65,003	73,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	62,897	68,451
売上原価	41,717	45,678
売上総利益	21,179	22,773
営業収入	4,826	5,404
営業総利益	26,006	28,177
販売費及び一般管理費	25,899	28,161
営業利益	107	15
営業外収益		
受取利息	17	16
受取配当金	14	16
補助金収入	—	29
その他	27	23
営業外収益合計	58	85
営業外費用		
支払利息	211	285
その他	1	10
営業外費用合計	212	295
経常損失(△)	△46	△195
特別利益		
固定資産売却益	151	6
投資有価証券売却益	12	65
特別利益合計	164	72
特別損失		
固定資産除却損	90	52
賃貸借契約解約損	17	—
訴訟関連損失	62	—
特別損失合計	169	52
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△51	△175
匿名組合損益分配額	△87	△37
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	35	△137
法人税、住民税及び事業税	105	97
法人税等調整額	16	81
法人税等合計	121	178
四半期純損失(△)	△86	△316
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△86	△316

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純損失(△)	△86	△316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	131
その他の包括利益合計	71	131
四半期包括利益	△15	△185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15	△185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	1,521百万円	1,491百万円
のれんの償却額	38	176